

TOKYO FUTURE UNIVERSITY Curriculum Guide

2024
年度

カリキュラム案内

■こども心理学部こども心理学科

■モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科

学校法人 三幸学園

東京未来大学

通信教育課程

CONTENTS

こども心理学部 こども心理学科	
カリキュラム概要	P.2
開講科目一覧	P.5
各種実習[教育実習・介護等体験]	P.13
資格読替え表	P.19
教育職員免許法施行規則に定める科目と本学開講科目読替え表	
幼稚園教諭一種免許課程に係る教科目	P.21
小学校教諭一種免許課程に係る教科目	P.23
幼稚園教諭・小学校教諭二種免許課程に係る教科目	P.25
教員免許状の取得について	P.27

モチベーション行動科学部 モチベーション行動科学科	
カリキュラム概要	P.29
開講科目一覧	P.31
資格読替え表	P.37

両学部共通	
検定試験等による単位認定制度について	P.40
科目履修のための前提条件について	P.41

※本カリキュラム案内は、2024年度のための使用となります。また、カリキュラム等に変更する可能性があります。発行:2023年10月

カリキュラム概要

正科生（1年次入学）

《進級要件単位について》
正科生（1年次入学）は、以下に定められているとおり、必修および選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ進級できません。

科目区分	3年次への進級要件単位		4年次への進級要件単位	
一般教育科目	必修科目	6単位以上	必修科目	12単位以上
	小計	22単位以上	小計	28単位以上
専門教育科目	必修科目	12単位以上	必修科目	16単位以上
	小計	38単位以上	小計	64単位以上
合計	60単位以上		92単位以上	

《卒業要件単位について》
正科生（1年次入学）は、以下に定められているとおり、必修、選択必修および自由選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ卒業できません。

科 目 区 分			卒業要件単位				
			必 修	選択必修	自由選択	小 計	備 考
一般教育科目	教養科目群	人文	2	2	6	32単位以上	※卒業要件単位数の124単位中、30単位以上は、スクーリング単位で満たさなければならない。 スクーリング単位とは、スクーリング科目(対面授業)、スクーリング科目(メディア授業)、テキストスクーリング科目の1単位分の単位を合計したものである。
		自然科学	0	4			
		社会	0	4			
	スポーツ科目群		0	2			
	情報処理科目群		4	0			
	外国語科目群		6	2			
専門教育科目	基礎科目		12	0	20	92単位以上	
	基幹科目		4	8			
	展開科目		0	48			
	卒業研究科目		0	0			
合計			28単位	70単位	26単位	124単位	

《卒業研究・卒業論文について》
正科生（1年次入学）は、自由選択となり卒業要件科目ではありません。

正科生（3年次編入学）

《概要》

正科生（3年次編入学）は、出願時にコースを1つ選択し、そのコースに定められたカリキュラムを履修することによって、資格や教員免許状が取得できます。

※ 在籍途中でのコース変更はできません。

※ コースに定められた科目以外の履修はできません。

※ 各コースに定員の枠はありません。

《単位認定について》

編入学資格のある学校で修得した単位を、原則 60 単位を上限として認定します。認定単位数は、範囲内で成績証明書・学力に関する証明書等の提出書類で本学が決定します。

認定単位数基準表	認定単位数				計
	一般教育科目	専門教育科目			
		基礎科目	基幹科目	展開科目	
認定心理士・生涯学習コース	32	0	0	28	60
幼稚園教諭一種免許コース	24～32*	0	4	24	52～60
小学校教諭一種免許コース	24～32*	0	4	24	52～60

※ 本学の科目等履修生で修得した単位のうち、編入学コースで開講されている科目であれば、12科目24単位を上限に単位認定を行います。

* 認定可能な科目については各コースの開講科目一覧よりご確認ください。

《進級要件について》

正科生（3年次編入学）には進級要件はありません。ただし、前提条件のある科目に注意して履修し、卒業要件を満たしてください。

《卒業要件単位について》

正科生（3年次編入学）は、次頁に定められているとおり必修、選択必修および自由選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ卒業できません。また、卒業要件単位数の 124 単位中、30 単位以上はスクーリング単位で満たす必要があります（認定単位数を含む）。

【注意】 入学資格を証明する書類により、スクーリング単位を個別に認定します。例えば通学課程の大学・短期大学・専門学校等卒業者の場合は、全ての単位をスクーリング単位として認定します（上限30単位）。ただし、編入学時に30単位をスクーリングとして認定された場合でも、必修科目、資格・教員免許要件上スクーリングが必要な場合もあります。

認定心理士・生涯学習コース

科 目 区 分		卒 業 要 件 単 位				備 考
		必 修	選択必修	小 計		
一般教育科目（認定単位）		(32)		32単位以上		認定単位数を含む
専門教育科目	基礎科目	12	0	12	92単位以上	
	基幹科目	4	8	12		
	展開科目	0	34	62		
	(認定単位)	(28)				
合計		—				

※ 基幹科目もしくは展開科目の中からそれぞれに必要な単位数に加えて余剰分6単位以上がさらに必要となる。

幼稚園教諭一種免許コース／小学校教諭一種免許コース

科 目 区 分		卒 業 要 件 単 位			備 考	
		必 修	選択必修	小 計		
一般教育科目	日本国憲法	2	0	32単位		認定単位数を含む
	体育実技A	左記の科目のうち 2単位以上選択必修				
	体育実技B					
	レクリエーション論					
	健康科学論					
	情報処理基礎I (機器操作を含む)	2	0			
	英語 I	2	0			
	(認定単位)	(24)				
専門教育科目	基礎科目	12	0	12	92単位 以上	
	基幹科目	8	0	12		
	(認定単位)	(4)				
	展開科目	0	44	68		
	(認定単位)	(24)				
合計		—			124単位	

※ 上記の単位は、卒業のための単位数であって、資格や教員免許状取得の要件とは異なります。

※ 学士(4年制大学卒業資格)を所持している場合、資格や教員免許状の取得要件を満たせば、卒業要件を満たさなくても資格や教員免許状の取得が可能です。

《卒業研究・卒業論文について》

正科生（3年次編入学）は履修することができない科目ですが、認定心理士・生涯学習コースに在籍している方は、通信教育課程の定める要件を満たした場合、履修申請が認められることがあります。その際、卒業時期の延期を伴います。

開講科目一覧

カリキュラム全体の見方

〈授業方法〉欄…T：テキスト科目 S：スクーリング科目（対面授業） M：スクーリング科目（メディア授業） L：スクーリング科目（ライブ授業） TS：テキストスクーリング科目		〈開講ターム〉欄…偶：偶数ターム 奇：奇数ターム	
〈授業形態〉欄…講：講義 演：演習 実：実技or実験or実習		〈各要件〉欄…卒業要件：卒業するために必要な単位 実習要件：教育実習実施前学期までに必要な科目 資格・教員免許状要件：認定心理士や教員免許状等を取得するために必要な科目	
・所属学部コースに開講する科目のみ、履修することができます。 ・各科目の担当教員は、シラバスや年度始めに提示する開講予定表をご参照ください。		〈資格・教員免許状要件〉欄…○：本学において、資格・教員免許状を取得するために必修としている科目 △：選択必修科目 ()：認定心理士資格要件上、副次主題のため、取得した単位数の1/2換算を表す	

正科生（１年次入学）

※2023年10月時点の予定です。

科目区分			授業科目	履修年次	授業方法	開講ターム	授業形態	認定心理士	幼児一種		小免一種		社会福祉主事	卒業要件単位数			
									実習要件	免許要件	実習要件	免許要件		必修	選択	小計	合計
一般教育科目	教養科目群	人文学	哲学	1234	T	奇	講							2	4単位以上	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上	
			宗教学	1234	T	奇	講						2				
			歴史学	1234	T	偶	講						2				
			文学	1234	T	偶	講						2				
			国語表現	1234	S		講					2					
		自然科学	数学	1234	T	偶	講							2	4単位以上		
			天文学	1234	T	奇	講							2			
			生命科学	1234	T	偶	講							2			
			脳科学	1234	M		講							2			
			環境科学	1234	T	偶	講							2			
	社会	社会学	1234	T	偶	講					△		2	4単位以上			
		政治学	1234	L		講							2				
		経済学	1234	T	偶	講					△		2				
		法律学	1234	T	奇	講					△		2				
		日本国憲法	1234	T	奇	講			○		○		2				
	スポーツ科目群	体育実技A	1234	S		実			△		△		1	2単位以上			
		体育実技B	234	S		実			△		△		1				
		レクリエーション論	1234	S		講			△		△		2				
		健康科学論	234	T	奇	講			△		△		2				
	情報処理科目群	情報科学概論	1234	T	偶	講							2	4単位以上			
		情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）	1234	M		演			○		○		2				
		情報処理基礎Ⅱ（機器操作を含む）*	234	S		演							2				
	外国語科目群	英語Ⅰ	1234	T	奇	講			△		△		2	8単位以上			
		英語Ⅱ	234	T	奇	講			△		△		2				
		英語コミュニケーションⅠ	1234	S		演			△		△		2				
		英語コミュニケーションⅡ	234	S		演			△		△		2				
		リスニング [※]	1234	L		演			△		△		2				
		中国語	234	S		演							2				

・※は前提条件のある科目です。詳細はP41にて確認してください。

次頁へ続く▶

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講ターム	授業形態	認定心理士	幼免一種		小免一種		社会福祉主事	卒業要件単位数					
							実習要件	免許要件	実習要件	免許要件		必修	選択	小計	合計		
専門教育科目	基礎科目	子ども学	1234	T	奇	講						2		12単位	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上		
		心理学概論（こころの形成）	1234	T	偶	講	○		△		△		2				
		心理学概論（こころの理解）	1234	T	奇	講	○		△		△		2				
		乳幼児心理学	1234	T	偶	講	○		○		△		2				
		子ども臨床心理学	1234	T	奇	講	○		△		△		2				
		子どもの心理学（総論）	1234	T	偶	講	（○）		△		△		2				
	基幹科目	教育心理学	1234	T	奇	講	○	○	○		○		2			12単位以上	
		青年心理学	234	T	偶	講	△							2			
		パーソナリティ心理学	234	T	偶	講	△							2			
		カウンセリング論	234	T	奇	講	○						2				
		発達心理学	234	T	奇	講	△		○		△			2			
		心理学研究法Ⅰ	1234	M		講	○							2			
		心理統計法Ⅰ	1234	M		演	○							2			
		心理・教育アセスメントⅠ*	234	S		実	○							2			
	展開科目（心理）	教育学概論	1234	T	偶	講		○	○	○	○	△		2		展開科目から48単位以上	
		認知心理学	234	T	奇	講	△							2			
		感情心理学	234	T	奇	講	△							2			
		発達生理心理学Ⅰ	234	T	偶	講	△							2			
		発達生理心理学Ⅱ*	34	T	偶	講	△							2			
		比較行動学	34	T	偶	講	△							2			
		精神保健学	234	T	偶	講	（△）					△		2			
		発達の課題と障害	34	T	偶	講	△							2			
		発達障害学	1234	T	偶	講	△							2			
		心身医学	34	T	偶	講	（△）					△		2			
		心理療法基礎	234	S		演	△							2			
		心理療法上級*	34	S		演	△							2			
		家族の心理学	1234	T	偶	講	△							2			
		親子関係の心理学	34	T	偶	講	（△）							2			
		言語心理学	34	T	奇	講	△							2			
		集団の心理学	234	T	奇	講	△							2			
		学校教育カンファレンス	34	S		演	（△）							2			
		子育てカンファレンス	34	S		演	（△）							2			
		子どもマーケット調査論	234	T	偶	講											2
		子ども文化	234	S		講											2
		対人コミュニケーション論	234	T	奇	講	△										2
		対人コミュニケーションスキル	34	S		演	△										2
		少年非行の心理学	1234	T	奇	講	△										2

次頁へ続く▶

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	幼免一種		小免一種		社会福祉主事	卒業要件単位数			
							実習要件	免許要件	実習要件	免許要件		必修	選択	小計	合計
専門教育科目	展開科目（心理）	犯罪の心理学	34	T	奇	講	△						2	展開科目から48単位以上 専門教育科目から92単位以上 一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上	
		心理統計法Ⅱ*	234	S		演	△						2		
		心理学基礎実験*	234	S		実	○						2		
		心理・教育アセスメントⅡ*	34	S		演	(△)						2		
		社会的認知	234	M		講	△						2		
		文化心理学	234	T	奇	講	△						2		
		心理学研究法Ⅱ*	234	S		演	△						2		
		産業カウンセリング	34	M		講	△						2		
		ストレスマネジメント論	234	T	奇	講	△						2		
	展開科目（教育）	国語	234	T	偶	講				4科目8単位以上	5科目10単位以上				2
		社会	234	T	奇	講							2		
		算数	234	T	偶	講							2		
		理科	234	T	奇	講							2		
		生活	234	T	偶	講							2		
		子ども美術	234	T	奇	講							2		
		家庭	234	T	奇	講							2		
		子ども体育	234	T	偶	講							2		
		子ども音楽	234	T	奇	講							2		
		初等英語	234	T	偶	講							2		
		音楽実技ⅠA	1234	S		実						1			
		音楽実技ⅠB	1234	S		実						1			
		初等国語科教育法	234	T TS	偶 演	講 演			○			2			
		初等社会科教育法	234	T TS	奇 演	講 演			○			2			
		初等算数科教育法	234	T TS	偶 演	講 演			○			2			
		初等理科教育法	234	T TS	奇 演	講 演			○			2			
		初等生活科教育法	234	T TS	偶 演	講 演			○			2			
		初等音楽科教育法	234	T TS	奇 演	講 演			○			2			
		初等図画工作科教育法	234	T TS	奇 演	講 演			○			2			
		初等家庭科教育法	234	T TS	奇 演	講 演			○			2			
		初等体育科教育法	234	T TS	奇 演	講 演			○			2			
		初等英語教育法	234	T TS	偶 演	講 演			○			2			
		教職論	234	T	偶	講		○	○		○		2		
		比較教育制度論	234	T	偶	講			○		○		2		
		学校安全	234	T	奇	講			○		○		2		
		特別支援教育	234	T	偶	講			○		○		2		
		子ども教育課程論	234	T	偶	講		○	○		○		2		

・※は前提条件のある科目です。詳細はP41にて確認してください。

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	幼免一種		小免一種		社会福祉主事	卒業要件単位数				
							実習要件	免許要件	実習要件	免許要件		必修	選択	小計	合計	
専門教育科目	展開科目（教育）	道徳教育	234	T	偶	講			△	○	○			2	展開科目から48単位以上 専門教育科目から92単位以上 一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上	
		総合的な学習の指導法	234	T	偶	講					○			2		
		生徒・進路指導	234	T	奇	講				○	○			2		
		教育相談	234	T	偶	講					○			2		
		健康	234	T	奇	講	3科目6単位以上	○						2		
		人間関係	234	T	偶	講		○						2		
		環境	234	T	偶	講		○						2		
		言葉	234	T	奇	講		○						2		
		表現	234	T	偶	講		○						2		
		保育内容総論（保育指導法）	234	T	奇	講		○						2		
		健康指導法	234	TS		演		○						2		
		人間関係指導法	234	TS		演		○						2		
		環境指導法	234	TS		演		○						2		
		言葉指導法	234	TS		演		○						2		
		造形表現指導法	234	TS		演		○						2		
		音楽表現指導法	234	TS		演		○						2		
		幼児理解と保育相談	234	T	偶	講			○							2
		教育の方法と技術 （情報通信技術の活用を含む）	234	T	偶	講			○			○				2
		特別活動	234	T	偶	講					○			2		
		子ども家庭福祉	234	T	奇	講			△		△	△		2		
		社会福祉	34	T	奇	講						△		2		
		国際社会の福祉	4	L		講								2		
		教職実践演習（幼・小）*	4	S		演			○		○			2		
		教育実習指導（事前・事後）（幼）	4	S		実		事前のみ	○					1		
		教育実習Ⅰ（幼）*	4	S		実			○					2		
		教育実習Ⅱ（幼）*	4	S		実			○					2		
		教育実習指導（事前・事後）（小）*	4	S		実				事前のみ	○			1		
		教育実習Ⅰ（小）*	4	S		実					○			2		
		教育実習Ⅱ（小）*	4	S		実					○			2		
		多文化共生社会論	1234	T	奇	講								2		
	介護等体験	34				実				○						
卒業研究科目	こども心理学演習	34	T/S		演	△							2			
	卒業研究・卒業論文*	4	T/S		演	△							4			

・教育実習指導（事前・事後）（幼）・教育実習指導（事前・事後）（小）は、3年次の所定の時期から履修し、4年次に単位が付与されます。
・TS科目（テキストスクーリング科目）は1科目あたり2日間のスクーリング（対面授業）があり、1単位をスクーリング単位として換算できます。

正科生（3年次編入学）

認定心理士・生涯学習コース

※2023年10月時点の予定です。

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	社会福祉主事	卒業要件単位数				備考
								必修	選択	選択	合計	
一般教育科目	認定単位							32		32単位		
基礎科目	子ども学	34	T	奇	講			2				
	心理学概論（こころの理解）	34	T	奇	講	○		2				
	心理学概論（こころの形成）	34	T	偶	講	○		2				
	乳幼児心理学	34	T	偶	講	○		2				
	子ども臨床心理学	34	T	奇	講	○		2				
	子どもの心理学（総論）	34	T	偶	講	(○)		2				
										12単位		
基幹科目	教育心理学	34	T	奇	講	○		2				
	青年心理学	34	T	偶	講	△			2			
	パーソナリティ心理学	34	T	偶	講	△			2			
	カウンセリング論	34	T	奇	講	○		2				
	発達心理学	34	T	奇	講	△			2			
	教育学概論	34	T	偶	講		△		2			
	心理学研究法Ⅰ	34	M		講	○			2			
	心理統計法Ⅰ	34	M		演	○			2			
	心理・教育アセスメントⅠ*	34	S		実	○			2			
専門教育科目	心理統計法Ⅱ*	34	S		演	△			2			
	心理学基礎実験*	34	S		実	○			2			
	認知心理学	34	T	奇	講	△			2			
	感情心理学	34	T	奇	講	△			2			
	言語心理学	34	T	奇	講	△			2			
	親子関係の心理学	34	T	偶	講	(△)			2			
	発達の課題と障害	34	T	偶	講	△			2			
	発達生理心理学Ⅰ	34	T	偶	講	△			2			
	発達生理心理学Ⅱ*	34	T	偶	講	△			2			
	比較行動学	34	T	偶	講	△			2			
	心理療法基礎	34	S		演	△			2			
	心理療法上級*	34	S		演	△			2			
	精神保健学	34	T	偶	講	(△)	△		2			
	発達障害学	34	T	偶	講	△			2			
	心身医学	34	T	偶	講	(△)	△		2			
	少年非行の心理学	34	T	奇	講	△			2			
	犯罪の心理学	34	T	奇	講	△			2			
	学校教育カンファレンス	34	S		演	(△)			2			
	子育てカンファレンス	34	S		演	(△)			2			
	集団の心理学	34	T	奇	講	△			2			
	対人コミュニケーション論	34	T	奇	講	△			2			
	対人コミュニケーションスキル	34	S		演	△			2			
	家族の心理学	34	T	偶	講	△			2			
	子どもマーケット調査論	34	T	偶	講				2			
	子ども文化	34	S		講				2			
	心理・教育アセスメントⅡ*	34	S		演	(△)			2			
	社会的認知	34	M		講	△			2			
	文化心理学	34	T	奇	講	△			2			
	心理学研究法Ⅱ*	34	S		講	△			2			
	ストレスマネジメント論	34	T	奇	講	△			2			
	産業カウンセリング	34	M		講	△			2			
	子ども家庭福祉	34	T	奇	講		△		2			
	社会福祉	34	T	奇	講		△		2			
	国際社会の福祉	4	L		講				2			
	多文化共生社会論	34	T	奇	講				2			
	認定単位							28				

・参照:認定心理士資格～(公社)日本心理学会認定資格～読替表(カリキュラム案内P.19)
・※は前提条件のある科目です。詳細はP41にて確認してください。
・*基礎科目・基幹科目・展開科目それぞれの必要単位数の合算ではありません。

幼稚園教諭一種免許コース

※2023年10月時点の予定です。

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	幼免一種		社会福祉主事	卒業要件単位数				備考
						要実習	要免許		必修	選択	小計	合計	
一般教育科目	日本国憲法	34	T	奇	講		○		2				
	体育実技A	34	S		実		△			1			
	体育実技B	34	S		実		△			1			
	レクリエーション論	34	S		講		△			2			
	健康科学論	34	T	奇	講		△			2			
	情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）	34	M		演		○		2				
	英語Ⅰ	34	T	奇	講		○		2				
	認定単位								24				
基礎科目	子ども学	34	T	奇	講				2				
	心理学概論（こころの理解）	34	T	奇	講		△		2				
	心理学概論（こころの形成）	34	T	偶	講		△		2				
	乳幼児心理学	34	T	偶	講		○		2				
	子ども臨床心理学	34	T	奇	講		△		2				
	子どもの心理学（総論）	34	T	偶	講		△		2				
											12単位		
基幹科目	教育学概論	34	T	偶	講	○	○	△	2				
	教育心理学	34	T	奇	講	○	○		2				
	発達心理学	34	T	奇	講		○		2				
	カウンセリング論	34	T	奇	講				2				
	認定単位								4				
専門教育科目	健康	34	T	奇	講	3科目6単位以上	○			2			
	人間関係	34	T	偶	講		○			2			
	環境	34	T	偶	講		○			2			
	言葉	34	T	奇	講		○			2			
	表現	34	T	偶	講		○			2			
	音楽実技ⅠA	34	S		実					1			
	音楽実技ⅠB	34	S		実					1			
	保育内容総論（保育指導法）	34	T	奇	講		○			2			
	健康指導法	34	TS		演	3科目6単位以上	○			2			
	人間関係指導法	34	TS		演		○			2			
	環境指導法	34	TS		演		○			2			
	言葉指導法	34	TS		演		○			2			
	音楽表現指導法	34	TS		演		○			2			
	造形表現指導法	34	TS		演		○			2			
	教職論	34	T	偶	講		○			2			
	比較教育制度論	34	T	偶	講		○			2			
	学校安全	34	T	奇	講		○			2			
	特別支援教育	34	T	偶	講		○			2			
	子ども教育課程論	34	T	偶	講	○	○			2			
	教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む）	34	T	偶	講		○			2			
	幼児理解と保育相談	34	T	偶	講		○			2			
	教育実習指導（事前・事後）（幼）	4	S		実	事前のみ	○			1			
	教育実習Ⅰ（幼）*	4	S		実		○			2			
	教育実習Ⅱ（幼）*	4	S		実		○			2			
	教職実践演習（幼・小）*	4	S		演		○			2			
	道徳教育	34	T	偶	講		△			2			
	初等英語	34	T	偶	講					2			
	子ども家庭福祉	34	T	奇	講		△	△		2			
	社会福祉	34	T	奇	講			△		2			
	多文化共生社会論	34	T	奇	講					2			
	心身医学	34	T	偶	講			△		2			
	精神保健学	34	T	偶	講			△		2			
	認知心理学	34	T	奇	講					2			
	感情心理学	34	T	奇	講					2			
	少年非行の心理学	34	T	奇	講					2			
	発達障害学	34	T	偶	講					2			
	集団の心理学	34	T	奇	講					2			
	対人コミュニケーション論	34	T	奇	講					2			
	認定単位								24				

・教育実習指導（事前・事後）（幼）・教育実習指導（事前・事後）（小）は、3年次の所定の時期から履修し、4年次に単位が付与されます。
・TS科目(テキストスクリング科目)は1科目あたり2日間のスクリング(対面授業)があり、1単位をスクリング単位として換算できます。
・※は前提条件のある科目です。詳細はP41にて確認してください。

小学校教諭一種免許コース

※2023年10月時点の予定です。

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	小免一種		社会福祉主事	卒業要件単位数				備考
						要実習	要免許		必修	選択	小計	合計	
一般教育科目	日本国憲法	34	T	奇	講		○		2		32単位以上	教員免許状取得希望者は、体育実技A又は体育実技Bいずれかの単位を修得すること	
	体育実技A	34	S		実		△			1			
	体育実技B	34	S		実		△			1			
	レクリエーション論	34	S		講		△			2			
	健康科学論	34	T	奇	講		△			2			
	情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）	34	M		演		○		2				
	英語Ⅰ	34	T	奇	講		○		2				
	認定単位								24				
基礎科目	子ども学	34	T	奇	講				2		12単位		
	心理学概論（こころの理解）	34	T	奇	講		△		2				
	心理学概論（こころの形成）	34	T	偶	講		△		2				
	乳幼児心理学	34	T	偶	講		△		2				
	子ども臨床心理学	34	T	奇	講		△		2				
	子どもの心理学（総論）	34	T	偶	講		△		2				
基幹科目	教育学概論	34	T	偶	講	○	○	△	2		12単位		
	教育心理学	34	T	奇	講		○		2				
	発達心理学	34	T	奇	講		△		2				
	カウンセリング論	34	T	奇	講				2				
	認定単位								4				
専門教育科目	国語	34	T	偶	講	4科目8単位以上	5科目10単位以上			2	専門教育科目から合計92単位以上	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上	
	社会	34	T	奇	講					2			
	算数	34	T	偶	講					2			
	理科	34	T	奇	講					2			
	生活	34	T	偶	講					2			
	家庭	34	T	奇	講					2			
	子ども美術	34	T	奇	講					2			
	子ども体育	34	T	偶	講					2			
	初等英語	34	T	偶	講			2					
	子ども音楽	34	T	奇	講			2					
	音楽実技ⅠA	34	S		実			1					
	音楽実技ⅠB	34	S		実			1					
	初等国語科教育法	34	T TS	偶 演	講 演		○		2				
	初等社会科教育法	34	T TS	奇 演	講 演		○		2				
	初等算数科教育法	34	T TS	偶 演	講 演		○		2				
	初等理科教育法	34	T TS	奇 演	講 演		○		2				
	初等生活科教育法	34	T TS	偶 演	講 演		○		2				
	初等音楽科教育法	34	T TS	奇 演	講 演		○		2				
	初等図画工作科教育法	34	T TS	奇 演	講 演		○		2				
	初等家庭科教育法	34	T TS	奇 演	講 演		○		2				
	初等体育科教育法	34	T TS	奇 演	講 演		○		2				
	初等英語教育法	34	T TS	偶 演	講 演		○		2				
	展開科目（教育）						*4科目8単位以上						68単位以上

科目区分		授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	小免一種		社会福祉主事	卒業要件単位数				備考
							要実習	要免許		必修	選択	小計	合計	
専門教育科目	（教育） 展開科目	教職論	34	T	偶	講		○			2	68単位以上 専門教育科目から合計92単位以上 一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上		
		比較教育制度論	34	T	偶	講		○			2			
		学校安全	34	T	奇	講		○			2			
		特別支援教育	34	T	偶	講		○			2			
		子ども教育課程論	34	T	偶	講		○			2			
		道德教育	34	T	偶	講	○	○			2			
		総合的な学習の指導法	34	T	偶	講		○			2			
		特別活動	34	T	偶	講		○			2			
		教育の方法と技術 (情報通信技術の活用を含む)	34	T	偶	講		○			2			
		生徒・進路指導	34	T	奇	講	○	○			2			
		教育相談	34	T	偶	講		○			2			
		教育実習指導(事前・事後)(小)	4	S		実	事前のみ	○			1			
		教育実習Ⅰ(小)*	4	S		実		○			2			
		教育実習Ⅱ(小)*	4	S		実		○			2			
		教職実践演習(幼・小)*	4	S		演		○			2			
		子ども家庭福祉	34	T	奇	講		△	△		2			
		社会福祉	34	T	奇	講			△		2			
		多文化共生社会論	34	T	奇	講					2			
		介護等体験	34			実		○						
	（心理）	心身医学	34	T	偶	講			△		2			
		精神保健学	34	T	偶	講			△		2			
		認定単位									24			

- ・教育実習指導(事前・事後)(幼)・教育実習指導(事前・事後)(小)は、3年次の所定の時期から履修し、4年次に単位が付与されます。
- ・TS科目(テキストスクーリング科目)は1科目あたり2日間のスクーリング(対面授業)があり、1単位をスクーリング単位として換算できます。
- ・※は前提条件のある科目です。詳細はP41にて確認してください。

各種実習

教育実習・
介護等体験

教育実習

《目的》

教育実習は、教職に就くことを希望する方のために教育職員免許法施行規則に基づき、学校教育の現場において大学で学んだ理論や知識を活かすとともに、実践的な知識・技能・態度等の基礎を修得するためのものです。

《教育実習資格》

教育実習は、教育実習受入校・園および所轄の教育委員会の理解と協力があってはじめて実施可能となりますので、実習校・園の正常な教育活動を妨げたり、現場教員の負担を増大させるなど、実習校・園に迷惑をかけることがあってはなりません。したがって、本学では以下に掲げる事項を教育実習実施資格としています。

- (1) 本学で定める教員免許状に必要な実習要件科目及び単位数を、実習開始前学期までに修得済みである方。
(詳細は、入学後に配布される冊子『学生便覧・履修の手引き』を確認してください。)
- (2) 教職またはこれに関連する職種に就く意志が強い方。
- (3) 実習校・園の正常な教育活動を妨げる恐れのない方。
- (4) 心身ともに健康な方。
- (5) 「教育実習指導（事前）」を受講している方。

【参考】実習校・園の受入れ条件については、所轄の教育委員会により多少異なりますが、おおむね次の通りです。

- ① 実習校・園卒業生または所轄自治体の出身者であること。
- ② 教育職員志望の意志が明確であり、教育実習を実施しようとする意志が強いこと。
- ③ 資質・能力に優れ、心身ともに正常な教育活動を行い得ると認められた方。
- ④ 教員採用試験を所轄自治体で受けた方、あるいは当該年度に受ける予定の方。

【注意】教員採用試験受験資格年齢を過ぎている方等は、実習校・園の確保が難しい場合があります。該当者は余裕をもって行動し、個々に実習校・園の確保に努めてください。

《必要単位数・教育実習日数等》

教育実習は、「教育実習指導（事前・事後）」1単位と、実習校・園で行う「教育実習Ⅰ・Ⅱ」4単位計5単位とし、実習校・園の教職員と同じ勤務時間を含むこととしています。必要単位数や内容・教育実習日数は右表の通りです。

取得希望 免許状	必要 単位数	内容	教育実習 日数
幼稚園 小学校	5単位	「教育実習指導（事前・事後）」：1単位 （3～4年次） 「教育実習Ⅰ・Ⅱ」：4単位 （4年次）	20日間 ※

※他種免許状所持者で、教育実習単位の流用が可能な場合は、教育実習期間が10日間(2単位)となります。

《実施時期》

教育実習実施に必要な科目・単位を修得した上で、4年次に実施します。

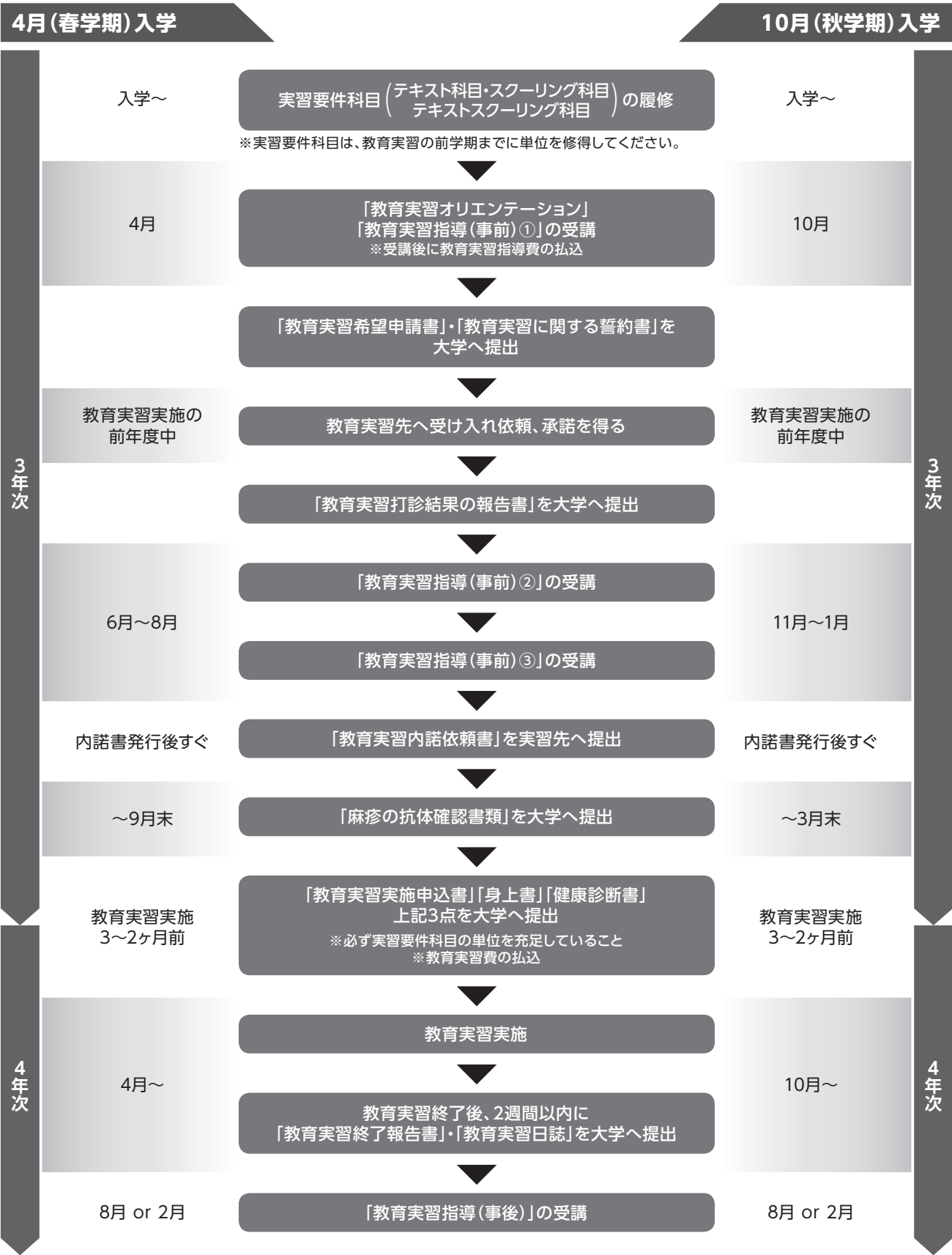
《教育実習校・園の確保》

実習校・園には、教育実習受入れの義務は一切ありません。したがって、実習校・園の確保は学生自身が責任をもって開拓すること（自己開拓）となります。一般的に、教育委員会、出身校・園、最寄りの学校・園などと交渉し、確保することを原則とします。本学からの実習校・園の斡旋、紹介は一切行っていないので、ご了承ください。ただし一定の条件が付加されている地域や学校・園では、自己開拓での実習校の確保ができない場合もありますので、早い時期に実施希望地域の教育委員会、実習希望校・園の条件等を把握しておいてください。

※学校勤務者(教諭、講師、事務職員、介助員、心の教室相談員、学童保育指導員、学校・園内で勤務されている方)等の勤務校・園での実習実施は認められません。勤務校・園以外の実習校・園を確保する必要があります。

《教育実習の流れ》

※決定時期・実施時期等は一例となりますので、各自異なる場合があります。



教育実習の注意事項(3年次編入学希望者対象)

《個別の手続が必要な自治体》

下記表に記載がある自治体の公立学校（園）で教育実習を希望する場合、実習実施前年度の各教育委員会または学校（園）が定める期日までに、手続を行う必要があります。手続の方法は編入学後、速やかに各教育委員会や実習希望校（園）に確認し、本学までご報告ください。

※編入学前はまだ本学の学生ではありませんので、教育委員会や学校（園）への連絡はお控えください。

また、表の一部地域（下線の自治体、横浜市除く）は、大学が一括して所轄の教育委員会に実習の受入れを申請しますので、実習希望校（園）との直接交渉ができません。さらに、各自治体が定める教育実習の受入れ上限人数を超えた場合、受入れが制限されることがあります。

－ 秋学期（10月）編入学生は実習時期に注意 －

秋学期に3年次編入学をし、下線の自治体での実習を希望する場合、教育委員会への申請期限や実習受入れ時期の関係上、編入学の次の年度に教育実習を行うことができない場合があります。その場合、編入学をした次々年度で申込みますので、1年半での免許取得は出来ません（東京都希望者が該当します。そのほかの自治体については一度、本学にご確認ください）。

東京都	<u>全市区町村</u>
-----	--------------

北海道	<u>小樽市</u> ・ <u>江別市</u> ・恵庭市
福島県	いわき市
群馬県	伊勢崎市・桐生市・渋川市
埼玉県	入間市・川越市
千葉県	千葉市・八千代市・船橋市
神奈川県	<u>横浜市</u>
長野県	長野市・須坂市・塩尻市
岐阜県	岐阜市・各務原市
静岡県	浜松市・湖西市
愛知県	ほぼ全市町村・ <u>名古屋市</u>
三重県	<u>津市</u> ・桑名市・鈴鹿市・松坂市

滋賀県	全市町村
京都府	<u>京都市</u>
大阪府	<u>大阪市</u> ・ <u>豊中市</u>
兵庫県	<u>神戸市</u> ・ <u>姫路市</u> ・ <u>明石市</u> ・尼崎市 加古川市・西脇市
島根県	松江市
広島県	広島市・呉市・東広島市
山口県	<u>下関市</u> ・長門市・宇部市
香川県	高松市
福岡県	福岡市・大牟田市・北九州市

※表の自治体は現在、本学で把握している地域のみとなります。
※私立学校（園）での実習を希望する場合は、上記の限りではありません。

介護等体験（※小学校教諭免許状取得希望者のみ）

《目的》

介護等体験は、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、高齢者、障害者に対する介護、介助等の交流体験を行うことで、個人の尊厳および社会の連帯理念に関する認識を深めることにあります。平成 10 年 4 月 1 日以降、新たに小学校もしくは中学校教諭普通免許状の授与を受けようとする人は、所定の科目履修のほか、介護等体験が必要となります。

《対象者》

小学校教諭免許状取得希望者（幼稚園教諭免許状取得希望者は不要です）

《免除される方》

- (1)平成 10 年 3 月 31 日以前において、大学または文部科学大臣の指定する教員養成機関に在学した方で、これらを卒業するまでに教育職員免許法別表第 1 に規定する小学校または中学校の教諭の専修、一種もしくは二種のいずれかの免許状取得に係る所要資格を得ていて、当該の教員免許状授与の申請をする方。
- (2)既に教育職員免許法別表第 1 により小学校または中学校教諭の普通免許状を取得している方で、次のいずれかに該当する方。
 - ①二種免許状を当該一種免許状に上進する場合
 - ②既に中学校の免許状を所持し、小学校の免許状を取得する場合
- (3)「小学校及び中学校の教諭の普通免許授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律施行規則」第 3 条（介護等の体験を免除する者）に該当する方。
 - ① 以下の免許・資格を受けている方
 - ・保健師、助産師、看護師、准看護師の免許
 - ・盲学校、聾学校、養護学校又は特別支援学校の教員の免許
 - ・理学療法士、作業療法士の免許
 - ・社会福祉士、介護福祉士の資格
 - ・義肢装具士の免許
 - ② 身体上の障害により介護等体験を行うことが困難な者として文部科学省令で定める方。（身体障害者福祉法第 4 条に規定する身体障害者のうち、同法第 15 条第 4 項の規定により交付を受けた身体障害者手帳に、障害の程度が 1 級から 6 級である者として記載されている方）

《申請手続》

介護等体験は居住地または本籍地である都道府県にて行います。大半の都道府県への申請時期は、前年度から 4 月末頃となります。本学より“各都道府県社会福祉協議会”と“各都道府県教育委員会”へ一括申請します。

《実施時期》

3 年次後期または 4 年次に実施します。体験先及び日時の指定はできませんので、指定された日時に指定された体験先にて体験を行います。

《日数》

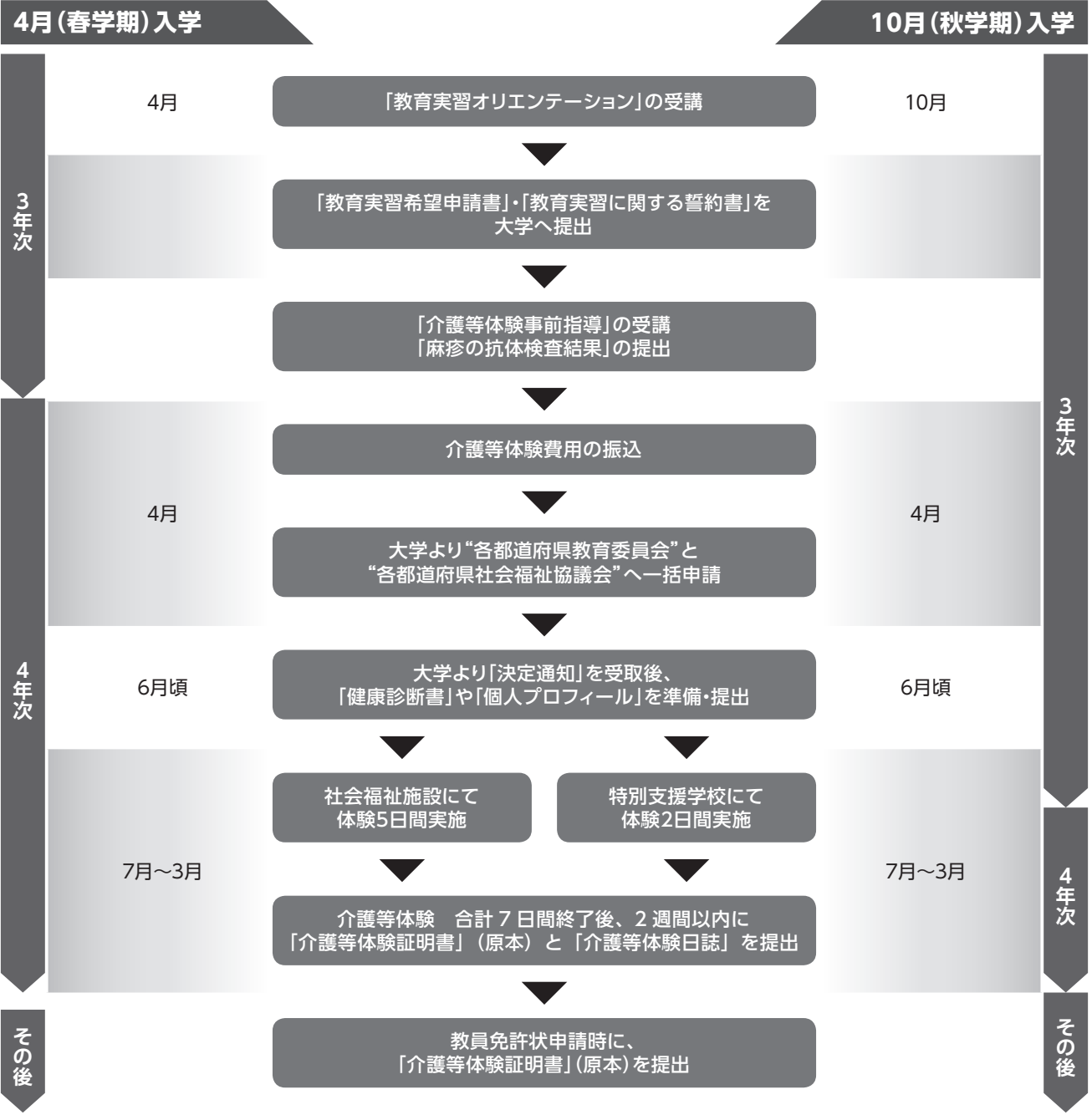
特別支援学校（盲・ろう・養護学校等）2 日間（申請先の教育委員会で決定された期日）
社会福祉施設等 5 日間（申請先の社会福祉協議会で決定された期日）
※都道府県によっては、社会福祉施設等 7 日間となる場合もあります。

《その他の留意事項》

本学より取りまとめて申請しますので、学生個人での申込みはできません。
決定された実施日は、原則変更はできません。
体験実施の前年度末までに「介護等体験事前指導」の受講、「麻疹の抗体検査結果」の提出が必要です。（検査結果が「陰性」の場合はワクチン接種を受ける必要があります。）
体験先によっては、「健康診断書」・「細菌検査（検便）結果」などの提出が必要な場合があります。

《介護等体験の流れ》

※決定時期・実施時期等は一例となりますので、都道府県によっては異なる場合があります。



資格読替え表

認定心理士資格～(公社)日本心理学会認定資格～

- ②は、本学において認定心理士資格を取得するための必須としている科目です。
- ()は副次主題のため認定心理士資格申請時には1単位の換算になることを示します。
- 各領域4単位中2単位は、「副次主題」以外の科目単位となります。ただし残余単位は「副次主題」科目の単位でもかまいません。

認定心理士認定資格 細則別表による領域		単位数		左記に対応する 本学における開講科目		単位数			
						T	S	M	
a	心理学概論	各領域4単位以上 小計12単位以上	36 単位 以上	a	心理学概論（こころの形成）	②			
					心理学概論（こころの理解）	②			
					子どもの心理学（総論）	(②)			
b	心理学研究法			b	心理学研究法Ⅰ			②	
					心理学研究法Ⅱ*		2		
					心理統計法Ⅰ			②	
					心理統計法Ⅱ*		2		
c	心理学実験・実習			c	心理学基礎実験*		②		
					心理・教育アセスメントⅠ*		②		
d	知覚心理学 学習心理学	3領域各4単位以上を含む16単位以上		d	認知心理学	2			
					感情心理学	2			
					言語心理学	2			
e	生理心理学 比較心理学			e	発達生理心理学Ⅰ	2			
					発達生理心理学Ⅱ*	2			
					比較行動学	2			
f	教育心理学 発達心理学			f	教育心理学	②			
					乳幼児心理学	②			
					発達心理学	2			
					青年心理学	2			
					親子関係の心理学	(2)			
					発達の課題と障害	2			
g	臨床心理学 人格心理学			g	子ども臨床心理学	②			
					カウンセリング論	②			
					産業カウンセリング			2	
					ストレスマネジメント論	2			
					心理療法基礎		2		
					心理療法上級*		2		
					心理・教育アセスメントⅡ*		(2)		
					パーソナリティ心理学	2			
					精神保健学	(2)			
					発達障害学	2			
					心身医学	(2)			
					少年非行の心理学	2			
					犯罪の心理学	2			
					学校教育カンファレンス		(2)		
					子育てカンファレンス		(2)		
h	社会心理学 産業心理学			h	集団の心理学	2			
					社会的認知			2	
					対人コミュニケーション論	2			
					対人コミュニケーションスキル		2		
					家族の心理学	2			
					文化心理学	2			
i	その他の科目	「卒業研究科目」からは、心理学に関連したテーマに限り、最大4単位まで認める		i	こども心理学演習	2			
					卒業研究・卒業論文*	4			

- 「T:テキスト科目／S:スクーリング科目(対面授業)／M:スクーリング科目(メディア授業)」を示します。
- ※は前提条件のある科目です。詳細はP41にて確認してください。
- 上表は2023年度の状況であり、科目や担当教員、講義概要の変更などにより単位の取り扱いが変更される場合があります。

社会福祉主事任用資格

省令による科目区分	単位数	左記に対応する 本学における開講科目	単位数 T(テキスト科目)
社会福祉概論	3科目6単位以上	社会福祉	2
児童福祉論		子ども家庭福祉	2
精神障害者保健福祉論		精神保健学	2
法学		法律学	2
経済学		経済学	2
社会学		社会学	2
教育学		教育学概論	2
医学一般		心身医学	2

- 社会福祉主事任用資格は、「社会福祉法」に定められた任用資格です。
- 厚生労働大臣の指定する科目のうち、3科目6単位以上を満たすことで、卒業時に資格取得が可能です。

教育職員免許法施行規則に定める科目と本学開講科目読替え表

(本学での開講科目はすべて「新法(平成31年改正法)」によります)

幼稚園教諭一種免許課程に係る教科目

※2023年10月時点の予定です。

【教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目					
科 目	単 位 数	科 目 名	授業方法	開講タイム	単 位 数	カリキュラム本学	備 考
日本国憲法	2	日本国憲法	T	奇	2	○	
体育	2	体育実技A	S		1	△	体育実技Aまたは体育実技Bいずれか一方を含む2単位以上
		体育実技B	S		1	△	
		レクリエーション論	S		2	△	
		健康科学論	T	奇	2	△	
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ	T	奇	2	△	
		英語Ⅱ	T	奇	2	△	
		英語コミュニケーションⅠ	S		2	△	
		英語コミュニケーションⅡ	S		2	△	
		リスニング	L		2	△	
情報機器の操作	2	情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)	M		2	○	

【教科及び教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数					左記に対応する本学における開講科目						
科目区分			各科目に含めることが 必要な事項	単 位 数	科目名	授 業 方 法	開 講 タ イ ム	単 位 数	カリ 本 学 ニ ム	実 習 要 件	備 考
第2欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	16	健康	T	奇	2	○	3科目6単位以上	
			人間関係		T	偶	2	○			
			環境		T	偶	2	○			
			言葉		T	奇	2	○			
			表現		T	偶	2	○			
		保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容総論(保育指導法)		T	奇	2	○	3科目6単位以上		
			健康指導法		TS		2	○			
			人間関係指導法		TS		2	○			
			環境指導法		TS		2	○			
			言葉指導法		TS		2	○			
			音楽表現指導法		TS		2	○			
			造形表現指導法		TS		2	○			

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単 位 数	科目名	授業方法	開講タイム	単 位 数	カリキュラム本学	実習要件	備 考
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目		教育学概論	T	偶	2	○	○	
			教職論	T	偶	2	○	○	
			比較教育制度論	T	偶	2	○		要2科目履修
			学校安全	T	奇	2	○		
		10	教育心理学	T	奇	2	○	○	要3科目履修
			発達心理学	T	奇	2	○		
			乳幼児心理学	T	偶	2	○		
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		特別支援教育	T	偶	2	○		
			子ども教育課程論	T	偶	2	○	○	
		4	教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む)	T	偶	2	○		
			幼児理解と保育相談	T	偶	2	○		
第5欄	教育実践に関する科目	7	教育実習指導(事前・事後)(幼)	S		1	○	事前のみ	
			教育実習Ⅰ(幼)	S		2	○		
			教育実習Ⅱ(幼)	S		2	○		
			教職実践演習(幼・小)	S		2	○		
第6欄	大学が独自に設定する科目	14	心理学概論(こころの形成)	T	偶	2	△	※左記に掲げる科目のほか、最低修得単位を超えて修得した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の単位をあてることができる。	
			心理学概論(こころの理解)	T	奇	2	△		
			子ども臨床心理学	T	奇	2	△		
			子どもの心理学(総論)	T	偶	2	△		
			道徳教育	T	偶	2	△		
			子ども家庭福祉	T	奇	2	△		

- ・授業方法 [T:テキスト科目／S:スクーリング科目(対面授業)／M:スクーリング科目(メディア授業)／TS:テキストスクーリング科目] を示します。
- ・スクーリング科目／テキストスクーリング科目の日程は、別紙「スクーリング科目／テキストスクーリング科目開講予定表」よりご確認ください。

【実習要件について】

教育実習Ⅰ・Ⅱを受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○(4科目)及び「領域に関する専門的事項」から3科目6単位以上、「保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」から3科目6単位以上を修得していることと、教育実習指導(事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。

小学校教諭一種免許課程に係る教科目

※2023年10月時点の予定です。

【教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目					
科目	単位数	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	カリキュラム本学	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	T	奇	2	○	
体育	2	体育実技 A	S		1	△	体育実技 A または体育実技 B いずれか一方を含む 2 単位以上
		体育実技 B	S		1	△	
		レクリエーション論	S		2	△	
		健康科学論	T	奇	2	△	
外国語コミュニケーション	2	英語 I	T	奇	2	△	
		英語 II	T	奇	2	△	
		英語コミュニケーション I	S		2	△	
		英語コミュニケーション II	S		2	△	
		リスニング	L		2	△	
情報機器の操作	2	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	M		2	○	

【教科及び教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	カリキュラム本学	実習要件	備考	
第2欄	教科に関する専門的事項		国語 (書写を含む。)			2	5科目10単位以上	4科目8単位以上		
			社会	T	偶	2				
			算数	T	奇	2				
			理科	T	偶	2				
			生活	T	奇	2				
			図画工作	T	偶	2				
			家庭	T	奇	2				
			体育	T	偶	2				
			外国語	T	奇	2				
			音楽	T	偶	2				
			音楽実技 I A	S		1				
			音楽実技 I B	S		1				
			初等国語科教育法	T	偶	2	○	4科目8単位以上		各教科の指導法は、テキスト科目 (T) 又はテキストスクーリング科目 (TS) のいずれかが選択できる。ただし、実習要件の4科目8単位以上は、TS科目で単位修得するよう努めること。
	(情報通信技術の活用を含む。)	30	社会	TS	奇	2	○			
			初等社会科教育法	T	偶	2	○			
			算数	TS	偶	2	○			
			初等算数科教育法	T	奇	2	○			
			理科	TS	偶	2	○			
			初等理科教育法	T	奇	2	○			
			生活	TS	偶	2	○			
			初等生活科教育法	T	奇	2	○			
			音楽	TS	偶	2	○			
			初等音楽科教育法	T	奇	2	○			
			図画工作	TS	偶	2	○			
			初等図画工作科教育法	T	奇	2	○			
			家庭	TS	偶	2	○			
			初等家庭科教育法	T	奇	2	○			
			体育	TS	偶	2	○			
			初等体育科教育法	T	奇	2	○			
			外国語	TS	偶	2	○			
			初等英語教育法	T	奇	2	○			

次頁へ続く▶

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目							
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	カリキュラム本学	実習要件	備考
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論	T	偶	2	○	○	要2科目履修
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		T	偶	2	○			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		T	偶	2	○			
		学校安全		T	奇	2	○			
		教育心理学		T	奇	2	○			
		発達心理学		T	奇	2	△			
		乳幼児心理学		T	偶	2	△			
		特別支援教育		T	偶	2	○			
子ども教育課程論	T	偶	2	○						
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)								
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育	T	偶	2	○	○	
		総合的な学習の時間の指導法		T	偶	2	○			
		特別活動の指導法		T	偶	2	○			
		教育の方法及び技術		T	偶	2	○			
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法								
		生徒指導の理論及び方法		T	奇	2	○	○		
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法								
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		T	偶	2	○			
第5欄	教育実践に関する科目	教育実習	7	教育実習指導(事前・事後)(小)	S		1	○	事前のみ	
				教育実習I(小)	S		2	○		
				教育実習II(小)	S		2	○		
				教職実践演習	S		2	○		
第6欄	大学が独自に設定する科目		2	心理学概論(こころの形成)	T	偶	2	△	※左記に掲げる科目のほか、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の単位をあてることができる。	
				心理学概論(こころの理解)	T	奇	2	△		
				子ども臨床心理学	T	奇	2	△		
				子どもの心理学(総論)	T	偶	2	△		
				子ども家庭福祉	T	奇	2	△		

- 授業方法 [T:テキスト科目 / S:スクーリング科目 (対面授業) / M:スクーリング科目 (メディア授業) / TS:テキストスクーリング科目] を示します。
- スクーリング科目 / テキストスクーリング科目の日程は、別紙「スクーリング科目開講予定表」よりご確認ください。

【実習要件について】
教育実習Ⅰ・Ⅱを受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○(3科目)及び「教科に関する専門的事項」から4科目8単位以上、「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」から4科目8単位以上を修得していることと、教育実習指導(事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。

幼稚園教諭二種免許課程に係る教科目

※2023年10月時点の予定です。

- 【注意事項】
- 二種免許状の基礎資格は、基本的に短期大学卒以上となるため、3年次編入生で、且つ短期大学・四年制大学既卒者のみご参照ください。
 - 1年次入学生及び専門学校卒業の3年次編入生は、一種免許状の要件単位をご参照ください。

【教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目					
科 目	単位数	科 目 名	授業方法	開講タイム	単位数	必要科目	備 考
日本国憲法	2	日本国憲法	T	奇	2	○	
体育	2	体育実技A	S		1	△	体育実技Aまたは体育実技Bいずれか一方を含む2単位以上
		体育実技B	S		1	△	
		レクリエーション論	S		2	△	
		健康科学論	T	奇	2	△	
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ	T	奇	2	△	
		英語Ⅱ	T	奇	2	△	
		英語コミュニケーションⅠ	S		2	△	
		英語コミュニケーションⅡ	S		2	△	
		リスニング	L		2	△	
情報機器の操作	2	情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）	M		2	○	

【教科及び教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	必要科目	実習要件	備 考
第2欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目 専門的事項 健康 人間関係 環境 言葉 表現	12	健康	T	奇	2	3科目6単位以上	3科目6単位以上	
			人間関係	T	偶	2			
			環境	T	偶	2			
			言葉	T	奇	2			
			表現	T	偶	2			
			保育内容総論（保育指導法）	T	奇	2			
	保育内容の指導法 （情報機器及び教材の活用を含む。）	4	健康指導法	TS		2	3科目6単位以上	3科目6単位以上	
			人間関係指導法	TS		2			
			環境指導法	TS		2			
			言葉指導法	TS		2			
			音楽表現指導法	TS		2			
			造形表現指導法	TS		2			
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	6	教育学概論	T	偶	2	○	○	
			教職論	T	偶	2	○	○	
			比較教育制度論	T	偶	2	○		要2科目履修
			学校安全	T	奇	2	○		
			教育心理学	T	奇	2	○	○	
			発達心理学	T	奇	2			
	教育の基礎的理解に関する科目	4	乳幼児心理学	T	偶	2			
			特別支援教育	T	偶	2	○		
			子ども教育課程論	T	偶	2	○	○	
			教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む。）	T	偶	2	○		
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	4	幼児理解の理論及び方法	T	偶	2	○		
			教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	T	偶	2	○		
			幼児理解と保育相談	T	偶	2	○		
第5欄	教育実践に関する科目	7	教育実習指導（事前・事後）（幼）	S		1	○	事前のみ	
			教育実習Ⅰ（幼）	S		2	○		
			教育実習Ⅱ（幼）	S		2	○		
			教職実践演習（幼・小）	S		2	○		
			心理学概論（こころの形成）	T	偶	2			
第6欄	大学が独自に設定する科目	2	心理学概論（こころの理解）	T	奇	2			
			子ども臨床心理学	T	偶	2			
			子どもの心理学（総論）	T	偶	2			
			道徳教育	T	偶	2			
			子ども家庭福祉	T	奇	2			

- 授業方法[T:テキスト科目／S:スクーリング科目(対面授業)／M:スクーリング科目(メディア授業)／TS:テキストスクーリング科目]を示します。
 - スクーリング科目／テキストスクーリング科目の日程は、別紙「スクーリング科目／テキストスクーリング科目開講予定表」よりご確認ください。
 - 免許状取得のためには、免許法施行規則上の最低単位を満たすだけでなく、「各科目に含めることが必要な事項」を全て網羅して単位修得の必要があります。「必要科目」の欄を参照の上で科目単位を充足してください。
- 【実習要件について】
- 教育実習Ⅰ・Ⅱを受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○(4科目)及び「領域に関する専門的事項」から3科目6単位以上、「保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」から3科目6単位以上を修得していることと、教育実習指導(事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。

小学校教諭二種免許課程に係る教科目

※2023年10月時点の予定です。

- 【注意事項】
- 二種免許状の基礎資格は、基本的に短期大学卒以上となるため、3年次編入生で、且つ短期大学・四年制大学既卒者のみご参照ください。
 - 1年次入学生及び専門学校卒業の3年次編入生は、一種免許状の要件単位をご参照ください。

【教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目					
科目	単位数	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	必要科目	備 考
日本国憲法	2	日本国憲法	T	奇	2	○	
体育	2	体育実技 A	S		1	△	体育実技Aまたは体育実技Bいずれか一方を含む2単位以上
		体育実技 B	S		1	△	
		レクリエーション論	S		2	△	
		健康科学論	T	奇	2	△	
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ	T	奇	2	△	
		英語Ⅱ	T	奇	2	△	
		英語コミュニケーションⅠ	S		2	△	
		英語コミュニケーションⅡ	S		2	△	
		リスニング	L		2	△	
情報機器の操作	2	情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）	M		2	○	

【教科及び教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	必要科目	実習要件	備 考
第2欄	教科及び教科の指導法に関する科目 各教科の指導法に関する専門的事項 （情報通信技術の活用を含む。）	16	国語（書写を含む。）	T	偶	2			
			社会	T	奇	2			
			算数	T	偶	2			
			理科	T	奇	2			
			生活	T	偶	2			
			図画工作	T	奇	2			
	教科及び教科の指導法に関する科目 各教科の指導法に関する専門的事項 （情報通信技術の活用を含む。）	16	家庭	T	奇	2			
			子ども美術	T	奇	2			
			子ども体育	T	偶	2			
			初等英語	T	偶	2			
			子ども音楽	T	奇	2			
			音楽実技ⅠA	S		1			
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	6	音楽実技ⅠB	S		1			
			初等国語科教育法	T/TS	偶	2			
			初等社会科教育法	T/TS	奇	2			
			初等算数科教育法	T/TS	偶	2			
			初等理科教育法	T/TS	奇	2			
			初等生活科教育法	T/TS	偶	2			
	教育の基礎的理解に関する科目	4	初等音楽科教育法	T/TS	奇	2			
			初等図画工作科教育法	T/TS	奇	2			
			初等家庭科教育法	T/TS	奇	2			
			初等体育科教育法	T/TS	奇	2			
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	6	初等英語教育法	T/TS	偶	2			
			教育学概論	T	偶	2	○	○	
			教職論	T	偶	2	○		
			比較教育制度論	T	偶	2	○		要2科目履修
			学校安全	T	奇	2	○		
			教育心理学	T	奇	2	○		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	4	発達心理学	T	奇	2			
			乳幼児心理学	T	偶	2			
			特別支援教育	T	偶	2	○		
			子ども教育課程論	T	偶	2	○		
第5欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	6	子ども教育課程論	T	偶	2	○		
			道徳教育	T	偶	2	○	○	
			総合的な学習の指導法	T	偶	2	○		
			総合的な学習の指導法	T	偶	2	○		
			特別活動	T	偶	2	○		
			教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む）	T	偶	2	○		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	4	生徒・進路指導	T	奇	2	○	○	
			教育相談	T	偶	2	○		
			教育実習指導（事前・事後）（小）	S		1	○	事前のみ	
			教育実習Ⅰ（小）	S		2	○		
第6欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	6	教育実習Ⅱ（小）	S		2	○		
			教職実践演習（幼・小）	S		2	○		
			心理学概論（こころの形成）	T	偶	2	△		
			心理学概論（こころの理解）	T	奇	2	△		
			子ども臨床心理学	T	奇	2	△		
			子どもの心理学（総論）	T	偶	2	△		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	4	子ども家庭福祉	T	奇	2	△		
			心理学概論（こころの形成）	T	偶	2	△		
			心理学概論（こころの理解）	T	奇	2	△		
			子ども臨床心理学	T	奇	2	△		

- 授業方法[T:テキスト科目／S:スクーリング科目(対面授業)／M:スクーリング科目(メディア授業)／TS:テキストスクーリング科目]を示します。
 - スクーリング科目／テキストスクーリング科目の日程は、別紙「スクーリング科目開講予定表」よりご確認ください。
 - 免許状取得のためには、免許法施行規則上の最低単位を満たすだけでなく、「各科目に含めることが必要な事項」を全て網羅して単位修得の必要があります。「必要科目」の欄を参照の上で科目単位を充足してください。
- 【実習要件について】
- 教育実習Ⅰ・Ⅱを受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○(3科目)及び「教科に関する専門的事項」から4科目8単位以上、「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」から4科目8単位以上を修得していることと、教育実習指導(事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。

教員免許状の取得について

《留意事項》

教員免許状は、教育職員免許法により定められた方法で単位を修得した人に対し各都道府県が授与するものです。教員免許状取得に必要な条件を満たしたうえで免許状授与の申請手続が必要です。ただし、次の各号に該当する人は教員免許状が授与されませんので、教員免許状取得を目的とする入学はできません。

(教育職員免許法第5条第1項第3号～第6号)

3号 禁錮以上の刑に処せられた者

4号 第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者

5号 第11条第1項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者

6号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

— 参考 —

教員採用の条件について

各自治体の教育委員会は教員採用にあたって、おおむね次のことを公表しています。教員免許状の取得、教員採用を同時に志望する方は留意してください。

＜教員採用試験受験要項＞

- (1) 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格事項に該当する者は受験できない
- (2) 正常な教育活動に支障のある著しい障害と疾患を有していない者
- (3) 採用年齢制限を超えていないこと

主な教員免許状の取得方法

教員免許状取得の詳細は、各都道府県教育委員会でご確認ください。

①本学で所定の単位を修得し、教員免許状を取得する(免許法第5条別表第1)

＜教員免許状取得要件＞

- ・4年制大学の卒業(学士)
- ・所定の単位の修得(カリキュラム案内P.21～P.24参照)

カリキュラム案内P.21～P.24の対照表をご参照のうえ、希望する教員免許状取得に必要な単位を修得してください。なお、一種免許状の取得にあたっては基礎資格として4年制大学の卒業(学士)が必要になりますので、1年次入学生や専門学校・短期大学卒の3年次編入生については、本学の卒業要件も満たすようにしてください。

さらに、取得を希望する校種以外の教員免許状をすでにお持ちの場合は、必要単位の軽減が可能となる場合があります(単位の流用)。ご出身大学等での単位修得状況によって流用可能な単位・科目が異なりますので、ご出身大学等から新法(2019年施行)に読み替えた「学力に関する証明書」をお取り寄せのうえ、教員免許状を申請する予定の都道府県教育委員会にご確認ください。

※指定教員養成機関(専門学校など)で教員免許状を取得している場合、単位の流用ができませんのでご注意ください。

②教員としての在職年数と実務経験をもとに、上級免許状を取得する(免許法第6条別表第3)

所持する二種免許状または臨時免許状の教員として所定の期間、良好な成績で勤務した方は、本学で所定の単位を修得することで上級免許状の取得が可能です。なお、必要単位数は在職年数に応じて、減っていきます。

最低在職年数および単位数は、以下のとおりです。

受けようとする免許状の種類		既有免許状	最低在職年数	必要単位数
幼稚園教諭	一種免許状	二種免許状	5	45
	二種免許状	臨時免許状	6	45
小学校教諭	一種免許状	二種免許状	5	45
	二種免許状	臨時免許状	6	45

この方法で上級免許状を取得する場合、教育実習や本学の卒業は不要です。また上表の最低在職年数を超える在職年数があるときは、超過1年につき5単位分、修得単位数が減っていきます(上限あり)。

さらに、学士をお持ちで二種免許状による勤務経験がある方は、最低3年の勤務年数があれば25単位の修得で一種免許状に上進することが可能になり、この場合も超過1年ごとに修得単位数が減っていきます(上限あり)。

なお、勤務年数の考え方や修得すべき単位の詳細な内訳は各都道府県によって異なる場合がありますので、必ず教員免許状を申請する予定の都道府県教育委員会に確認をしたうえで、本学での履修を進めてください。

③所持免許状を基礎に在職年数と単位で隣接校種の二種免許状を取得(免許法第6条別表8)

基礎免許状の取得後、当該校種又は新たに免許状を受けようとする校種で、教諭として3年間の実務経験があれば、所定の単位を修得することで隣接校種の教員免許状(二種)が取得できます。(隣接校種とは隣り合っている学校種を指し、例えば所有免許状が小学校であれば、その隣接校種は幼稚園と中学校になります)。単位の内訳等詳細については、勤務地の各都道府県教育委員会でご確認ください。法令上は次の通りです。

(教育職員免許法第6条別表第8)(教育職員免許法施行規則第18条の2)

受けようとする 免許状の種類	必要単位数					
	既有免許状	最低在職 年数	領域及び保育内容の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	
			保育内容の指導法	各教科の指導法	道徳の理論及び指導法	生徒指導の理論及び方法、教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)、進路指導及びキャリア教育の理論及び方法
幼稚園教諭 二種免許状	小学校教諭 普通免許状	3年	6			
小学校教諭 二種免許状	幼稚園教諭 普通免許状			10(★)	1	2(☆)
	中学校教諭 普通免許状			10(★)		2(☆)

★各教科の指導法の単位の修得方法は、小学校教諭の二種免許状の授与を受ける場合にあって、国語(書写を含む)、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育及び外国語のうち5以上の教科の指導法(幼稚園教諭の普通免許状を有する場合にあっては生活、中学校教諭の普通免許状を有する場合にあってはその免許教科に相当する教科を除く)についてそれぞれ2単位以上を修得するものとする。

☆法令上はこちらの領域から計2単位の修得となりますが、内容網羅の必要があるため、本学開設科目上、計4単位の修得が必要です。

※最低在職年数とは、「既有免許状」を根拠に当該学校の教諭、または講師として良好な成績で勤務した最低の年数をいいます(助教諭は対象外)。教員免許状申請の際に実務証明責任者の証明を必要とします。

※具体的な修得科目・単位数は、教育職員免許状の授与権者である都道府県教育委員会が規定していますので、教育職員免許法施行規則に定める科目と本学開講科目の対照表(カリキュラム案内P.21～P.24)および小学校教諭免許状取得科目一覧(募集要項P.23～P.24)を参照の上、現職の方は勤務する学校の所在地の教育委員会、現職でない方は居住地の教育委員会でご確認ください(上記単位数を満たすのみでは、科目区分を満たせない場合があります)。

カリキュラム概要

正科生（1年次入学）

《進級要件について》

正科生（1年次入学）は、以下に定められているとおり、必修および選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ進級できません。

科 目 区 分		3年次への進級要件		4年次への進級要件	
一般教育科目		必修科目	6単位以上	必修科目	12単位以上
		小 計	22単位以上	小 計	28単位以上
専門教育科目		必修科目	10単位以上	必修科目	16単位以上
		小 計	38単位以上	小 計	64単位以上
合計		60単位以上		92単位以上	

《卒業要件単位について》

正科生（1年次入学）は、以下に定められているとおり必修、選択必修および自由選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ卒業できません。

科 目 区 分			卒業要件単位				
			必 修	選択必修	自由選択	小 計	備 考
一般教育科目	教養科目群	人文	2	2	6	32単位以上	※卒業要件単位数の124単位中、30単位以上は、スクーリング単位で満たさなければならない。スクーリング単位とは、スクーリング科目(対面授業)、スクーリング科目(メディア授業)で修得した単位
		自然科学	0	4			
		社会	0	4			
	スポーツ科目群		0	2			
	情報処理科目群		4	0			
	外国語科目群		6	2			
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群		10	4	54	92単位以上	
	経営科目群		4	8			
	教育科目群		2	10			
	演習科目		0	0			
合計			28単位	36単位	60単位	124単位	

《卒業研究・卒業論文について》

正科生（1年次入学）は、自由選択となり卒業要件科目ではありません。

正科生（3年次編入学）

《単位認定について》

編入学資格のある学校で修得した単位を、原則 60 単位を上限として認定します。認定単位数は、成績証明書等の提出書類で本学が決定します。

認定単位数				計
一般教育科目	専門教育科目			
	心理・コミュニケーション科目群	経営科目群	教育科目群	
32	28			60

※本学の科目等履修生で修得した単位のうち、編入学コースで開講されている科目であれば、12科目24単位を上限に単位認定を行います。

《進級要件について》

正科生（3年次編入学）は進級要件はありません。ただし、前提条件のある科目に注意して履修し、卒業要件を満たしてください。

《卒業要件単位について》

正科生（3年次編入学）は、以下に定められているとおり必修、選択必修および自由選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ卒業できません。また、卒業要件単位数の 124 単位中、30 単位以上はスクーリング単位（メディア授業の単位を含む）で満たす必要があります（認定単位数を含む）。

【注意】 入学資格を証明する書類により、スクーリング単位を個別に認定します。例えば通学課程の大学・短期大学・専門学校等卒業者の場合は、全ての単位をスクーリング単位として認定します（上限30単位）。ただし、編入学時に30単位をスクーリングとして認定された場合でも、必修科目、資格要件上スクーリングが必要な場合もあります。

科 目 区 分		卒 業 要 件 単 位				備 考
		必 修	選 択	自由選択	小 計	
一般教育科目（認定単位）		(32)			32単位	認定単位数を含む
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群	10	4	26	92単位以上	
	経営科目群	4	8			
	教育科目群	2	10			
	(認定単位)	(28)				
合計		—			124単位	

《卒業研究・卒業論文について》

正科生（3年次編入学）は履修することができない科目ですが、通信教育課程の定める要件を満たした場合、履修申請が認められることがあります。その際、卒業時期の延期を伴います。

開講科目一覧

カリキュラム全体の見方

〈授業方法〉欄…T：テキスト科目 S：スクーリング科目（対面授業） M：スクーリング科目（メディア授業） L：スクーリング科目（ライブ授業）	〈開講ターム〉欄… 偶：偶数ターム 奇：奇数ターム 〈各要件〉欄…卒業要件：卒業するために必要な単位 資格要件：資格を取得するために必要な科目
〈授業形態〉欄…講：講義 演：演習 実：実験 or 実習	〈資格要件〉欄…○：本学において、資格を取得するために必修としている科目 △：選択必修科目 ()：認定心理士資格要件上、副次主題の為、取得した単位数の1/2換算を表す
・所属学部の開講する科目のみ、履修することができます。 ・各科目の担当教員は、シラバスや年度始めに提示する開講予定表をご参照ください。	

正科生（1年次入学）

※2023年10月時点の予定です。

科目区分			授業科目	履修年次	授業方法	開講ターム	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション・マネジャー」Basic	社会福祉主事	卒業要件単位数			
											必修	選択	小計	合計
一般教育科目	教養科目群	人文	哲学	1234	T	奇	講					2	4単位以上	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上
			宗教学	1234	T	奇	講					2		
			歴史学	1234	T	偶	講					2		
			文学	1234	T	偶	講					2		
			国語表現	1234	S		講			2				
		自然科学	数学	1234	T	偶	講					2	4単位以上	
			天文学	1234	T	奇	講					2		
			生命科学	1234	T	偶	講					2		
			脳科学	1234	M		講					2		
			環境科学	1234	T	偶	講					2		
	社会	社会学	1234	T	偶	講				△		2	4単位以上	
		政治学	1234	L		講						2		
		経済学	1234	T	偶	講				△		2		
		法律学	1234	T	奇	講				△		2		
		日本国憲法	1234	T	奇	講						2		
	スポーツ科目群	体育実技A	1234	S		実						1	2単位以上	
		体育実技B	234	S		実						1		
		レクリエーション論	1234	S		講						2		
		健康科学論	234	T	奇	講						2		
	情報処理科目群	情報科学概論	1234	T	偶	講					2		4単位以上	
		情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）	1234	M		演					2			
		情報処理基礎Ⅱ（機器操作を含む）*	234	S		演						2		
	外国語科目群	英語Ⅰ	1234	T	奇	講					2		8単位以上	
		英語Ⅱ	234	T	奇	講						2		
		英語コミュニケーションⅠ	1234	S		演					2			
		英語コミュニケーションⅡ	234	S		演						2		
		リスニング	1234	L		演					2			
		中国語	234	S		演						2		

・※は前提条件のある科目です。詳細はP41にて確認してください。

次頁へ続く▶

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講ターム	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション・マネジャー」Basic	社会福祉主事	卒業要件単位数			
									必修	選択	小計	合計
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群	心理学概論	1234	T	奇	講	○	△	2		心理・コミュニケーション科目群から14単位以上	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上
		パーソナリティ心理学	1234	T	偶	講	△			2		
		心理学研究法	1234	M		講	○		2			
		社会心理学	1234	T	偶	講	△			2		
		心理学統計法	1234	M		演	○		2			
		発達心理学（モチベーション）	234	T	奇	講	△			2		
		心理学実験*	234	S		実	○			2		
		心理調査概論	234	L		講	(△)			2		
		感情心理学	34	T	奇	講	△			2		
		グループ・ダイナミックス	234	T	偶	講	△			2		
		産業・組織心理学	34	T	偶	講	△	○		2		
		認知心理学	234	T	奇	講	△			2		
		家族の心理学	34	T	偶	講	△			2		
		臨床心理学概論	1234	T	奇	講	△			2		
		モチベーション論Ⅰ	234	T	偶	講	○	○	2			
		リーダーシップ論	234	T	偶	講	△			2		
		コミュニケーションの心理学	234	T	奇	講	△	○		2		
		カウンセリング論	234	T	奇	講	△			2		
		産業カウンセリング	34	M		講	△			2		
		モチベーション論Ⅱ*	234	T	偶	講	○	○	2			
		ストレスマネジメント論	34	T	奇	講	△			2		
		心理療法	234	S		講	△			2		
		コミュニケーション・スキル	34	S		演	△			2		
		心理的アセスメント*	234	S		実	○			2		
		ポジティブ心理学	34	T	奇	講	△	○		2		
		心理演習	34	S		演	△			2		
		エイジングの心理学	34	T	奇	講	△			2		
		学習・言語心理学	234	T	奇	講	△			2		
		福祉心理学	34	T	奇	講	△			2		

次頁へ続く▶

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション・マネジャー」Basic	社会福祉主事	卒業要件単位数			
									必修	選択	小計	合計
専門教育科目	経営科目群	多文化共生社会論	234	T	奇	講				2	経営科目群から12単位以上 専門教育科目から92単位以上 一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上	
		地域と社会	234	T	偶	講			2			
		公共サービス論	34	S		講				2		
		コミュニティデザイン	34	T	偶	講				2		
		簿記	234	S		講				2		
		経営組織論	1234	T	偶	講				2		
		国際経済	234	T	偶	講				2		
		経営管理	234	T	偶	講				2		
		グローバルビジネス	234	T	偶	講				2		
		人的資源管理論	34	T	奇	講				2		
		経営学	1234	T	奇	講			2			
		経営リスクマネジメント	34	L		講				2		
		流通論	1234	T	奇	講				2		
		消費者行動分析	234	T	奇	講				2		
		国際関係論	234	T	偶	講				2		
		マーケティング	1234	M		演				2		
		マーケティング戦略	234	T	奇	講				2		
		都市経営論	34	T	偶	講				2		

・※は前提条件のある科目です。詳細はP41にて確認してください。

次頁へ続く▶

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション・マネジャー」Basic	社会福祉主事	卒業要件単位数			
									必修	選択	小計	合計
専門教育科目	教育科目群	教育心理学 (モチベーション)	1234	T	奇	講	○			2	教育科目群から12単位以上 専門教育科目から92単位以上 一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上	
		生涯学習論	234	M		講				2		
		コンピュータと人間の接点	1234	T	偶	講				2		
		NPOと市民活動	34	T	偶	講				2		
		国際理解教育論	234	T	偶	講				2		
		異文化コミュニケーション	1234	T	偶	講				2		
		コーチング	34	M		講	○			2		
		教育と産業社会	234	T	奇	講				2		
		社会教育とシティズンシップ	34	T	偶	講				2		
		地域教育支援論	1234	T	偶	講				2		
		教育とアイデンティティ	34	T	偶	講				2		
		教育福祉論	34	T	奇	講				2		
		コンピュータネットワーク	234	T	偶	講				2		
		教育学概論 (モチベーション)	1234	T	奇	講		△	2			
		社会福祉	34	T	奇	講		△		2		
		国際社会の福祉	4	L		講				2		
	演習科目	演習Ⅰ	34	T/S		演	△			2		
		演習Ⅱ*	34	T/S		演	△			2		
		卒業研究*	4	T/S		演	△			4		

正科生（3年次編入学）

※2023年10月時点の予定です。

科目区分		授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション・マネジャー」Basic	社会福祉主事	卒業要件単位数			
										必修	選択	小計	合計
一般教育科目		認定単位								32		32単位	
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群	心理学概論	34	T	奇	講	○		○	2		心理・コミュニケーション科目群から14単位以上	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上
		パーソナリティ心理学	34	T	偶	講	△				2		
		心理学研究法	34	M		講	○			2			
		社会心理学	34	T	偶	講	△				2		
		心理学統計法	34	M		演	○			2			
		発達心理学 (モチベーション)	34	T	奇	講	△				2		
		心理学実験*	34	S		実	○				2		
		心理調査概論	34	L		講	(△)				2		
		感情心理学	34	T	奇	講	△				2		
		グループ・ダイナミックス	34	T	偶	講	△				2		
		産業・組織心理学	34	T	偶	講	△	○			2		
		認知心理学	34	T	奇	講	△				2		
		家族の心理学	34	T	偶	講	△				2		
		臨床心理学概論	34	T	奇	講	△				2		
		モチベーション論Ⅰ	34	T	偶	講	○	○		2			
		リーダーシップ論	34	T	偶	講	△				2		
		コミュニケーションの心理学	34	T	奇	講	△	○			2		
		カウンセリング論	34	T	奇	講	△				2		
		産業カウンセリング	34	M		講	△				2		
		モチベーション論Ⅱ*	34	T	偶	講	○	○		2			
		ストレスマネジメント論	34	T	奇	講	△				2		
		心理療法	34	S		講	△				2		
		コミュニケーション・スキル	34	S		演	△				2		
		心理的アセスメント*	34	S		実	○				2		
		ポジティブ心理学	34	T	奇	講	△	○			2		
		心理演習	34	S		演	△				2		
		エイジングの心理学	34	T	奇	講	△				2		
		学習・言語心理学	34	T	奇	講	△				2		
		福祉心理学	34	T	奇	講	△				2		

・※は前提条件のある科目です。詳細はP41にて確認してください。

次頁へ続く▶

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション・マネジャー」Basic	社会福祉主事	卒業要件単位数				
									必修	選択	小計	合計	
専門教育科目	経営科目群	多文化共生社会論	34	T	奇	講					2	経営科目群から12単位以上	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上
		地域と社会	34	T	偶	講				2			
		公共サービス論	34	S		講					2		
		コミュニティデザイン	34	T	偶	講					2		
		簿記	34	S		講					2		
		経営組織論	34	T	偶	講					2		
		国際経済	34	T	偶	講					2		
		経営管理	34	T	偶	講					2		
		グローバルビジネス	34	T	偶	講					2		
		人的資源管理論	34	T	奇	講					2		
		経営学	34	T	奇	講			2				
		経営リスクマネジメント	34	L		講					2		
		流通論	34	T	奇	講					2		
		消費者行動分析	34	T	奇	講					2		
		国際関係論	34	T	偶	講					2		
		マーケティング	34	M		演					2		
		マーケティング戦略	34	T	奇	講					2		
		都市経営論	34	T	偶	講					2		
	教育科目群	教育心理学 (モチベーション)	34	T	奇	講	○				2	教育科目群から12単位以上	
		生涯学習論	34	M		講					2		
		コンピュータと人間の接点	34	T	偶	講					2		
		NPOと市民活動	34	T	偶	講					2		
		国際理解教育論	34	T	偶	講					2		
		異文化コミュニケーション	34	T	偶	講					2		
		コーチング	34	M		講		○			2		
		教育と産業社会	34	T	奇	講					2		
		社会教育とシティズンシップ	34	T	偶	講					2		
		地域教育支援論	34	T	偶	講					2		
		教育とアイデンティティ	34	T	偶	講					2		
		教育福祉論	34	T	奇	講					2		
		コンピュータネットワーク	34	T	偶	講					2		
		教育学概論 (モチベーション)	34	T	奇	講			○	2			
		社会福祉	34	T	奇	講			○		2		
		国際社会の福祉	4	L		講					2		
認定単位									28	28単位			

資格読替え表

認定心理士資格～(公社)日本心理学会認定資格～

- ・()は副次主題のため認定心理士資格申請時には1単位修得の換算になることを示します。
- ・②は、本学において認定心理士資格を取得するための必須としている科目です。

認定心理士認定資格 細則別表による領域		単位数		左記に対応する 本学における開講科目		単位数		
						T	S	M
a	心理学概論	4単位以上	36 単位 以上	a	心理学概論	②		
					教育心理学 (モチベーション)	②		
b	心理学研究法	小計8単位以上 (c領域は必ず4単位以上)		b	心理学研究法			②
					心理学統計法			②
					心理調査概論		(2)	
c	心理学実験・実習			c	心理学実験*		②	
					心理的アセスメント*		②	
d	知覚心理学 学習心理学	3領域各4単位以上を含む 16単位以上		d	認知心理学	2		
					感情心理学	2		
					学習・言語心理学	2		
e	生理心理学 比較心理学			e	—	—	—	
f	教育心理学 発達心理学			f	家族の心理学	2		
					発達心理学 (モチベーション)	2		
					エイジングの心理学	2		
g	臨床心理学 人格心理学			g	パーソナリティ心理学	2		
					臨床心理学概論	2		
					カウンセリング論	2		
					産業カウンセリング			2
					ストレスマネジメント論	2		
					心理療法		2	
					心理演習		2	
					福祉心理学	2		
					産業・組織心理学	2		
					リーダーシップ論	2		
					モチベーション論Ⅰ	②		
					モチベーション論Ⅱ*	②		
h	社会心理学 産業心理学			h	社会心理学	2		
					グループ・ダイナミックス	2		
					コミュニケーションの心理学	2		
					コミュニケーション・スキル		2	
					ポジティブ心理学	2		
i	その他の科目	「演習科目」からは、心理学に 関連したテーマに限り、最大4単位 まで認める		i	演習Ⅰ	2		
					演習Ⅱ*	2		
					卒業研究*	4		

- ・[T:テキスト科目／S:スクーリング科目(対面授業)／M:スクーリング科目(メディア授業)]を示します。
- ・※は前提条件のある科目です。詳細はP41にて確認してください。
- ・上表は2023年度の状況であり、科目や担当教員、講義概要の変更などにより単位の取り扱いが変更される場合があります。

社会福祉主事任用資格

省令による科目区分	要件	左記に対応する 本学における開講科目	単位数 T(テキスト科目)
社会福祉概論	3科目6単位以上	社会福祉	2
法 学		法律学	2
経済学		経済学	2
心理学		心理学概論	2
社会学		社会学	2
教育学		教育学概論	2

- ・社会福祉主事任用資格は、「社会福祉法」に定められた任用資格です。
- ・厚生労働大臣の指定する科目のうち、3科目6単位以上を満たすことで、卒業時に資格取得が可能です。

「公認モチベーション・マネジャー」資格

理論と実践が融合した「モチベーションをマネジメントする力」を客観的に証明する新しいビジネス系資格です。
(株)リンクアンドモチベーションと学校法人三幸学園、東京未来大学によって設立された、一般社団法人モチベーション・マネジメント協会が認定します。



3段階の資格体系と学習内容

資格体系は、本学通信教育課程で取得可能な Basic 他、Advanced、Professional と 3 段階あります。
本学部では Basic のみ取得可能ですが、一般社団法人モチベーション・マネジメント協会が行う講座を受講し Advanced や Professional の資格取得を目指すことも可能です。

			
主な取得対象者	●若手ビジネスパーソン	●マネジャー(組織管理者) ●人事関連業務従事者	●経営幹部 ●人事関連業務従事者
対象者ニーズ	●自己の仕事の意義付け等による 仕事へのモチベーションUP ●自分自身の成果向上	●メンバー(部下)の仕事へのモチベーションUP ●担当組織の成果向上	●組織全体の活性化のための仕組み・風土づくり ●組織全体の成果向上
学習内容	自己のモチベーションをマネジメントすることを中心に、モチベーションに関する理論と実践スキルを学びます	他者のモチベーションをマネジメントすることを中心に、モチベーションに関する理論と実践スキルを学びます	組織に対するモチベーション・マネジメントを中心に、モチベーションに関する理論と実践スキルを学びます

一般社団法人モチベーション・マネジメント協会 (<https://www.mm-a.jp/>) より一部抜粋。

「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格

区分	要件	左記に対応する 本学における開講科目	単位数	
			T	M
心理・コミュニケーション 科目群	6科目12単位	産業・組織心理学	2	
		モチベーション論Ⅰ	2	
		コミュニケーションの心理学	2	
		モチベーション論Ⅱ	2	
		ポジティブ心理学	2	
教育科目群		コーチング		2

※[T:テキスト科目/M:スクーリング科目(メディア授業)]を示します。

【留意事項】

上記6科目のうち「コーチング」は、スクーリング科目(メディア授業)です。スクーリング科目(メディア授業)は、収録された授業の動画と電子資料等を使って行う授業形態のため、自宅で履修することができます。

検定試験等による単位認定制度について

下記に掲げる検定試験の結果をもって、本学の開講科目の単位を認定する制度があります。1 年次入学・3 年次編入学ともに、出願時に必要書類を提出することにより審査の上認定します。申請方法および必要な提出書類等は、募集要項を参照してください。

開講学部 ・ コース番号	こども心理学部	モチベーション行動科学部
	正科生(1年次入学) …………… ①	正科生(1年次入学) …………… ④
	正科生(3年次編入学) 幼稚園教諭一種免許コース … ② 小学校教諭一種免許コース … ③	正科生(3年次編入学) …………… ⑤

■外国語関係

検定試験等(いずれか一つ)	認定科目(単位数)	単位 認定数	開講学部 コース番号
英検2級もしくはTOEIC® L&R 550点 TOEFL® iBT 70点	「英語Ⅰ」	2単位	①②③④
英検準1級もしくはTOEIC® L&R 740点 TOEFL® iBT 80点	「英語Ⅰ」 「リスニング」	4単位	①④
英検1級もしくはTOEIC® L&R 900点 TOEFL® iBT 105点	「英語Ⅰ」 「英語コミュニケーションⅠ」 「リスニング」	6単位	①④
中国語検定試験4級	「中国語」	2単位	①④

■情報関係

検定試験等(いずれか一つ)	認定科目(単位数)	単位 認定数	開講学部 コース番号
MOS WORD2007以降+Excel2007以降(Sp/Ex)	「情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)」	2単位	①②③④
日商PC検定試験(文書作成Basic+データ活用Basic)			
全国商業高等学校協会 「ビジネス文書実務検定試験3級+情報処理検定試験3級」			
ICTプロフィエンスー検定試験(P検)3級	「情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)」 「情報処理基礎Ⅱ(機器操作を含む)」	4単位	①④
ICTプロフィエンスー検定試験(P検)2級			

■その他

検定試験等(いずれか一つ)	認定科目(単位数)	単位 認定数	開講学部 コース番号
日商簿記検定試験3級または全経簿記検定試験2級	「簿記」	2単位	④⑤

※上表に規定する検定等の級・点数以上及びバージョン以降を設定対象とする。

注意事項

- ①この申請は出願時に限ります。出願期間後は一切受付できません。
- ②有効期間のある資格・結果は期限内に限ります。
- ③申請可能な科目は、志望する学部・コースのカリキュラムにある科目に限ります。
- ④申請によって認定された単位は、卒業要件単位に含みますが、登録単位数の上限及びGPA換算の対象とはしません。
また、正科生(1年次入学)のスクーリング必修30単位からは除きます。
- ⑤申請によって認定された科目の評価は、「P」となります。
- ⑥正科生(3年次編入学)の単位認定は、他大学等の既修得科目を優先します。
- ⑦認定の可否については、後日書面にて通知します。

科目履修のための前提条件について

一部科目の履修にあたっては、以下の通り前提条件が設定されております。前提条件に示されている科目の単位修得が済んでいない場合は、該当科目は履修することはできませんのでご注意ください。以下の条件は、正科生のみ該当となります。科目等履修生はこの条件の限りではありません。

こども心理学部

■一般教育科目

科目区分	科目名	前提条件
情報処理科目群	情報処理基礎Ⅱ(機器操作を含む)	[情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)]の単位を修得していること

■専門教育科目

科目区分	科目名	前提条件
基幹科目	心理・教育アセスメントⅠ	[心理学概論(こころの形成)][心理学概論(こころの理解)][心理学研究法Ⅰ][心理統計法Ⅰ]の単位を修得していること
展開科目(心理)	発達生理心理学Ⅱ	[発達生理心理学Ⅰ]の単位を修得していること
	心理療法上級	[心理療法基礎]の単位を修得していること
	心理統計法Ⅱ	[心理統計法Ⅰ]の単位を修得していること
	心理学基礎実験	[情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)※][心理学概論(こころの形成)][心理学概論(こころの理解)][心理学研究法Ⅰ][心理統計法Ⅰ]の単位を修得していること ※[情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)]は正科生1年次入学の学生のみ適用
	心理・教育アセスメントⅡ	[心理・教育アセスメントⅠ]の単位を修得していること
	心理学研究法Ⅱ	[心理学研究法Ⅰ]の単位を修得していること
展開科目(教育)	教職実践演習(幼・小)	[教育実習]を終了していること
	教育実習Ⅰ(幼)・教育実習Ⅱ(幼)	① [教育実習指導(事前・事後)]を受講していること ② 教育実習要件科目の単位を修得していること
	教育実習Ⅰ(小)・教育実習Ⅱ(小)	① [教育実習指導(事前・事後)]を受講していること ② 教育実習要件科目の単位を修得していること
卒業研究科目	卒業研究・卒業論文	[こども心理学演習]の単位を修得していること

モチベーション行動科学部

■一般教育科目

科目区分	科目名	前提条件
情報処理科目群	情報処理基礎Ⅱ(機器操作を含む)	[情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)]の単位を修得していること

■専門教育科目

科目区分	科目名	前提条件
心理・コミュニケーション科目群	心理学実験	[情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)※][心理学概論][心理学研究法][心理学統計法]の単位を修得していること ※[情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)]は正科生1年次入学の学生のみ適用
	モチベーション論Ⅱ	[モチベーション論Ⅰ]の単位を修得していること
	心理的アセスメント	[心理学概論][心理学研究法][心理学統計法]の単位を修得していること
演習科目	演習Ⅱ	[演習Ⅰ]の単位を修得していること
	卒業研究	[演習Ⅱ]の単位を修得していること

学校法人 三幸学園

東京未来大学

問い合わせ先

東京未来大学 通信教育部

〒120-0023 東京都足立区千住曙町34-12

T E L ▶ 0800-888-5071 (フリーコール)

E-mail ▶ tsushin-info@tokyomirai.jp

東京未来大学 通信



※読みやすいUD (ユニバーサルデザイン) フォントを使用しています。